

商業施設の新しい店内情報発信装置（媒体）がデビュー

百貨店初登場！ 画面にふれるだけで店内情報探索

『ふれてビジョン』



8月27日（金）に全館改装オープンする「船橋西武」に、縦型大画面プラズマディスプレイを使用したタッチパネル式店内案内装置『ふれてビジョン』が、百貨店に初登場（各階及び正面入口13台）。

『ふれてビジョン』は画面に表示された項目にふれるだけで、お客様の知りたい店内各階情報・イベント情報・おすすめ情報などを自由に検索することができます。

9月10日（金）に全館改装オープンする「高槻西武」（大阪府高槻市）にも設置。今後ミレニアムリテイリンググループ（そごう・西武百貨店）の改装店舗を中心に順次設置する予定です。

商業施設での大型プラズマディスプレイを使用した情報装置はこれまでもありましたが、旧来はテレビや電子ポスターのように一定の情報を順番に送出・表示するプッシュ型メディアでした。これに対して『ふれてビジョン』は、お客様が情報を選択できる初めての「プル型」メディアとなります。

既存のデジタルデータを活用した効率的な運用システムを開発

ポスター・ちらしからホームページまで、様々な情報データがデジタルで作成されている現在、これらのデータ資産を効果的に利用することでお客様に利便性の高い情報装置を提供できるのではないかとことから、この『ふれてビジョン』は誕生しました。『ふれてビジョン』の特徴は、

既存コンテンツを利用することが目的なので、わざわざ新たにデータを作成する必要がない。

データを紙媒体に印刷し配布することに比べ、スピーディー（入力情報を瞬時にお客様に提供）に、また紙も印刷する手間もなく、結果環境にやさしい。

『ふれてビジョン』システムは、ネットワーク技術及びホームページ資産の活用化など基幹システムを伊藤忠商事株式会社、タッチパネルを含む情報端末機器及び機器管理システムをパイオニア株式会社とのコラボレーションにより開発されました。

50インチの大型画面だから、画像鮮明、見やすい画面

大画面プラズマディスプレイ（パイオニア株式会社製業務用最新モデル：PDP-504CMX）を使用しているので画像は、くっきり鮮明。お客さまが立った姿勢で操作しやすく、情報が見やすいようタッチ式縦型ディスプレイを採用しました。

便利なだけでなく、楽しくて操作の簡単な画面構成

元カリスゲームクリエイターの飯野賢治氏に、『ふれてビジョン』の画面構成を依頼。小さなお子様から年配の方まで楽しんで、なおかつ簡単に情報検索できる画面構成にしました。たとえば『ふれてビジョン』基本画面の猫をふれると喜んで猫が表情を変えたり、てんとう虫にふれると羽を広げて飛び回ったり、と楽しさ、ホッとする瞬間も提供します。

コンシェルジュビジョンも登場

店内・店舗周辺のさまざまなご案内をするのが、「コンシェルジュ」。このコンシェルジュデスクにも新ビジョンを設置します（店内2カ所）。このビジョンでは、コンシェルジュが提供するサービスを視覚的にサポート。店内情報はもちろん、お問い合わせの多い街情報（ATMマップなど）も提供します。

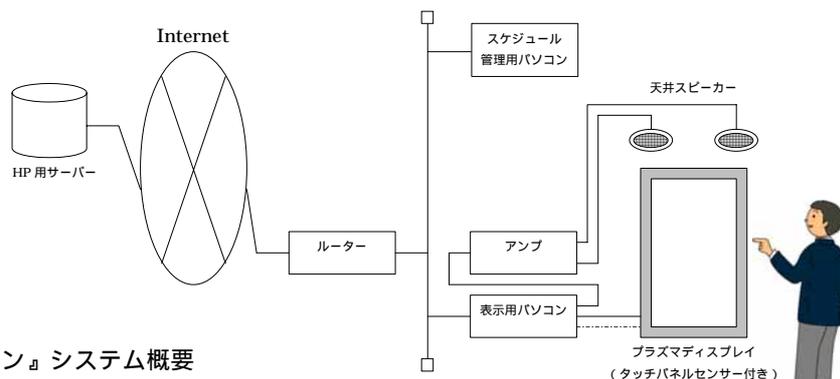


50インチ大画面プラズマディスプレイ『ふれてビジョン』



『ふれてビジョン』基本画面

システムイメージ



『ふれてビジョン』システム概要

ワンソース・マルチユースを実現した情報配信システム - HP(ホームページ)などの情報を有効活用。

50インチという大画面の非接触式タッチパネルを採用し、違和感の無いスムーズな操作感と、より多くの情報を見易く提供することを実現。

システムの電源管理・スケジュール管理を一括で行うことが可能な情報表示システム - デイリーの作業を行う必要が無く、システム運用の省力化が可能。